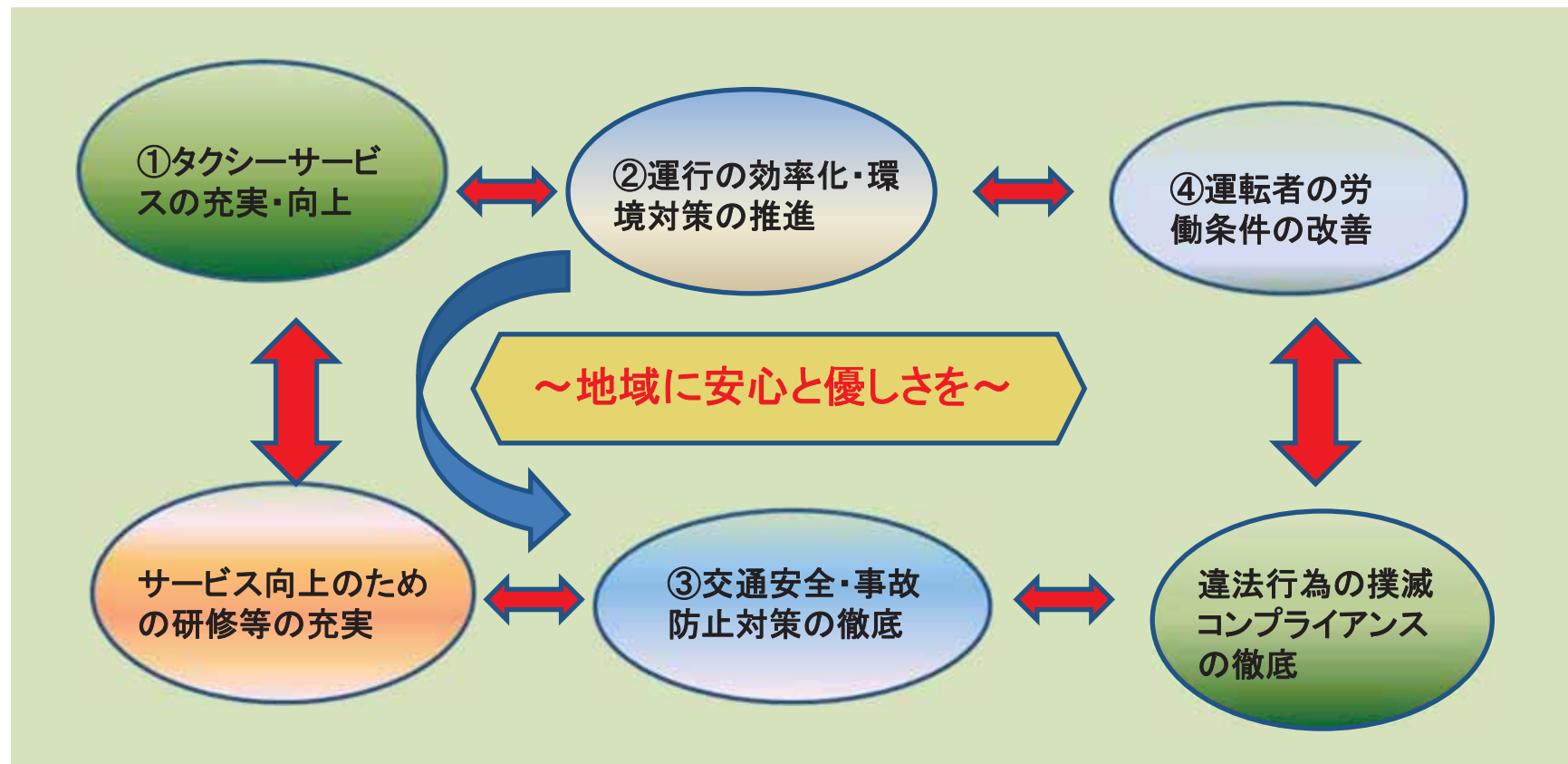


札幌交通圏におけるタクシー業界の取り組み

1. 利用者サービスの改善による需要喚起に関する事項

マイカーの増加、長期的な経済の低迷から需要が減少しており、需要喚起策を講じることが重要な課題となっている。また、少子・高齢化社会になっており、ドア・ツウ・ドアのサービスを提供できるタクシーの役割が高く評価されており、新しいサービスを求める声も大きいことから、個々の事業者で対応することが困難な場合は、共同化、協業化による対応も検討していく。



① タクシーサービスの充実・向上



地域に密着した利用しやすいタクシーを目指して

サービスの提供・充実

地域に安心を

- ・こども110番タクシー
- ・SOS防犯タクシーの導入
- ・地域タクシーパトロール
- ・車内防犯カメラの設置
- ・ドライブレコーダーを活用した防犯協力



車内防犯カメラで
犯罪の抑止効果
を狙う。



- ・福祉タクシーの導入促進
- ・介護タクシーの充実
- ・便利タクシー
- ・「タクシーの日」キャンペーンなどで社会奉仕事業として身障者の一日タクシー観光旅行の実施
- ・点字シールの表示



福祉タクシーを利用するお客様

地域の公共交通として体の不自由な方やお年寄り、女性の方々が安心して乗れるタクシーに



21年8月2日、50組の身障者の方々がタクシーで一日観光旅行を満喫

サービス向上のための研修等の充実

- ・観光案内の充実……観光タクシー乗務員認定制度の導入検討
- ・外国人観光客に対応できるよう「指差し会話集」の活用、実践
- ・物理的なバリアフリーのみならず、車いすや介護の仕方、ホスピタリティの向上を図る。
- ・苦情処理体制の充実・強化
- ・接客マナーの向上・研修の充実
- ・ケア輸送に必要な知識・技術の習得
- ・忘れ物等の迅速な対応
- ・運転者登録制度による質の向上



国際都市、観光都市の一員としておもてなしの心を大切にし、知識・技術の習得に努め、親しみやすいタクシーとして地域に溶け込む。



運転者登録証

②運行の効率化・環境対策の推進

無線のデジタル化やGPSを利用した配車システムにより、効率の良い配車体制の確立や環境に優しい低公害車の積極的な導入、グリーン経営の認証取得によって事業所全体で環境改善のアイデアや効率化の実践などを行う。



デジタル式GPS-AVMシステムの普及事業について

デジタル式GPS-AVMシステムの導入により、タクシー事業者の省エネ対策を推進

概要

客の呼び出し地点から最短距離にあるタクシーを強制配車することを可能とするデジタル式GPS-AVMシステムを普及させるため、システム関連機器導入費用の一部を補助し、タクシーの効率的配車による空車走行の削減を図る。

<デジタル式GPS-AVMシステム>



- ・低公害車の導入促進
- ・グリーン経営認証の取得
- ・アイドリングストップの励行
- ・エコドライブ体験講習会の実施



③交通安全・事故防止対策の徹底

年々減少するタクシー利用者に対して、札幌交通圏のタクシー車両は約6,600両と需給のバランスを逸している。このため、違法駐車や交差点での不法な客待ちによる交通渋滞などが大きな社会問題となっており、交通事故の要因ともなっていることから、指導員や監視カメラなどによってさらなる指導強化を図り、違法行為の撲滅、事故防止対策等を徹底する。



JR札幌駅南口の監視活動により渋滞が緩和され、スムーズにタクシーが移動

- ・タクシーパトロールの強化
- ・指導員による監視活動の強化
- ・監視カメラによる違法駐車等の排除
- ・飲酒運転撲滅のため代行運転の実施
- ・タクシー乗り場の整備、利用者への啓発。
- ・安全マネジメントの徹底。
- ・NASVAネットの活用

・ドライブレコーダーの搭載により事故分析が容易になり、安全運転が向上。事故も搭載車の場合には減少している。



JR札幌駅南口タクシー乗り場 ポーターさんがお客様を誘導。「ほっとする。」と好評である。



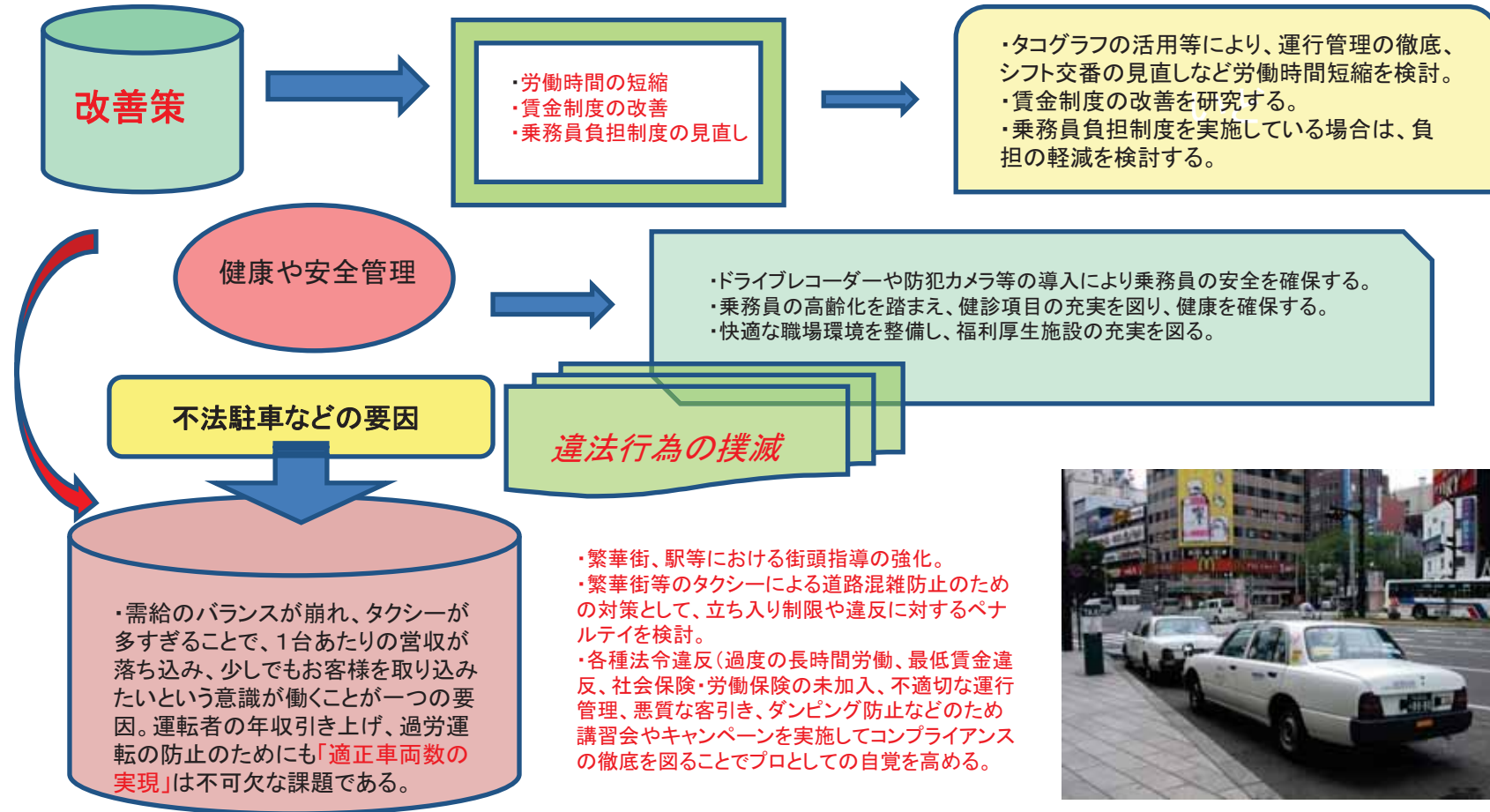
ブレーキやウィンカーの状態も記録できます。
※高機能タイプのみ



関西方面で発生した連続タクシー強盗事件の教訓を受けて防犯訓練を実施

④運転者の労働条件の改善、違法行為の撲滅

タクシー乗務員の労働実態は長時間労働にあり、多くの事業場において法令違反が指摘されている。また、年間賃金は全産業男性労働者のそれと比較して約6割という低い水準にあり、健全な業界とするためには、思いきった方法での改善が必要である。さらには、高齢化が進行し、事故防止の観点からも乗務員の健康管理も重要な課題である。



すすきのにおけるタクシー乗り場

2. 事業の共同化・協業化の推進、公共交通の使命を担うために

タクシーは、バスや鉄道の補完のみならず、ドア・ツウ・ドアの利便性・機動性から、高齢者、体の不自由な方なども手軽に利用できる重要な「公共交通機関」である。このため、1事業者でできない取り組みも、共同化・協業化によつてのサービスの提供、地域での奉仕事業、交通安全運動や防犯活動など、組織的な取り組みは業界としての大きな使命であり、その責任は大きい。



20年7月1日から札幌交通圏の全車全面禁煙を実施



共通チケット・クーポン券事業



需要拡大のため観光ルート別運賃を2割引で実施



飲酒運転撲滅のために代行運転TUDを展開



タクシー乗り場の整備・指導